



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校

学校だより 第4号

【発行日】 令和4年6月2日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 大泉 真澄

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

## 第12期 生徒会スローガン「The Way to Evolve～進化への道」



第12期生徒総会が5月18日（水）に、タブレット端末を活用したオンライン会議形式で開催されました。今回新たな試みとして、これまで冊子にしていた総会資料を各自のタブレット端末で閲覧することで、ペーパーレス化した総会にチャレンジしました。委員会や部活動の活動計画などについて、活発な協議が行われました。

第12期生徒会のテーマは「The Way to Evolve ～ 進化への道」です。情報共有や学年を超えたつながりを大切に、全員参加型のフルオープンな生徒会を目指すこと。ポジティブ精神、チャレンジ精神を持ち、広い視野を持って活動する方針を掲げています。学級としてどんな取組をするのか、委員会として、あるいは、部活動として、どんな取組が必要なのかを、真剣に考えることが、「進化への道」だと思います。

生徒のみなさんの今後の活動を期待しています。

## 2 学年北上川フィールドワーク 環境保全活動を実体験

5月17日（火）に今年で8回目となる干潟の観察やヨシ原の再生活動に参加しました。北上川河口付近一帯に広がっていたヨシ原は、人々の生活だけでなく、野鳥やヤマトシジミ等の豊かな生態系を支えていました。しかし、200 haあったヨシ原は、東日本大震災による地盤沈下で100 haにまで減少してしまったそうです。



当日は、東北工業大学工学部の山田一裕教授を講師に迎え、ヨシ原の再生を促すために、移植活動を体験してきました。今回移植したヨシ原が、しっかりと地面に根を伸ばしていくことを願い、泥だらけになりながらも真剣な表情で活動していました。

### ヨシについての講話

ヨシの移植を終えてから、国宝重要文化財保存修理や茅葺き工事を手がけている熊谷産業さんを訪問させていただきました。そこで、熊谷産業代表取締役の熊谷様から、ヨシ原が生態系に及ぼす役割や、ヨシ原を移植する目的について講話をいただきました。



ヨシ原の再生が、生態系にどんな好影響を及ぼすか、貴重なお話を聴くことができました。

### 先生方の指導力向上に向けた取組

本校では、国際バカロレア教育の「学習方法」や「指導の方法」などを参考に、生徒が新しく獲得した知識を別の事象に応用し、その現象や事実の意味するところについて考えるための足掛かりとしていく授業づくりについて、研究を進めています。



↑横沢教諭の美術の授業

5月27日（金）には、宮城県教育庁の指導主事に訪問いただき、研修を実施しました。当日は、1年A組で美術科の横沢教諭が「シンボルマークをデザインしよう」の授業を、2年C組で社会科の鈴木厚史教諭が「近世の日本」の授業を、3年C組で数学科の富士溪教諭が「三平方の定理」の授業を行いました。

今後、生徒たちの充実した学びに結び付けていけるよう日々取り組んで参ります。



### 中総体壮行式を行いました。二華中生！フルスイングでいこう！

□■仙台市中学校総合体育大会が、6月11日（土）から13日（月）までの3日間に渡って、各会場で開催されます。これに先立ちまして、応援委員会が壮行式を企画し、6月1日（水）に行いました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら、競技によっては、登録選手のみでの大会参加や無観客での開催となります。各部活動顧問から示される参加計画に従って、3日間の動向を確認してほしいと思います。



各部とも悔いの残らない全力プレーで戦ってほしいと思います。保護者の皆様のサポートをどうぞよろしくお願いいたします。